

ひろば大代

NO.392

大代まちづくり
センター

H24.3.23

感動をありがとう！

大代小学校閉校に寄せて



大代小学校校長 多田房明

大代の里に春が訪れようとしている今日、大代小学校は、百三十七年の永い歴史と伝統に幕を閉じる事となりました。私達職員は、輝かしい大代小学校教育を創り上げられた地域の皆様に敬意を表し、最後の教育活動に関わられたことを誇りに思わずにはられません。また、閉校記念事業実行委員会を組織していただき、最後まで支えていただきました。深く感謝申し上げます。

大代小学校では、その時代や子ども達の実態に合った特色ある教育活動が推進されて来ました。昭和四十九年度の保健体育優良校としての全国表彰や昭和五十三・五十四年度の島根県花いっぱいコンクールにおける連続最優秀賞は、一つの到達点です。

小学校最後となるこの一年間は、子ども達に「ふるさと・大代の宝物を一つでも多く見つけよう！」と呼びかけ、高山小学校との統合に備えて『自分の思いを表現できる子』と『誰とでも仲良くできる子』をめざすべき重点子ども像とし、「ふるさと教育」を柱として教育活動を展開しました。ふるさとの『ひと・もの・こと』を積極的に学習活動に取り入れ、子ども達が体験を通して学んだ事を表現活動に生かす取り組みや、高山小学校との交流活動を生かす取り組みです。

その間、地域や保護者の皆様から、数多くのご支援・ご協力を賜りました。閉校記念行事で子ども達が発表した「ギフチョウの観察」「紙漉」「蕎麦の栽培活動」「ゆず胡椒作り」「壁画作り」は、その一環です。お陰をもちまして、子ども達はふるさと・大代のすばらしさを肌で感じながら、心身ともに健やかに、心豊かに成長することができました。また、子ども達の日々成長する姿から、私達職員は大いなる感動と励ましを与えられました。

本年度で大代小学校は閉校となりますが、そのすばらしい伝統と精神は、新

高山小学校にも受け継がれて行くことでしょう。今日、ここから新しく出発する子ども達が『何事にも粘り強く取り組む大代っ子』の良さを發揮して大きく羽ばたいてくれることを願い、最後のご挨拶といたします。



多田校長先生挨拶

ありがとう 大代小学校

さようなら 大代小学校

大代小学校PTA会長

小笠原 恵功

明治七年開校の大家小学校・明治八年開校の八代小学校を前身とした大代

小学校は、本日永き歴史を閉じ、閉校を迎える事となりました。

私自身も昭和四十七年に入学したこの小学校の卒業生の一人です。木造校舎の長い長い廊下をぬか袋でひたすら磨いた事。秋の町民運動会には、鼓笛隊を組んで、当時の中学校まで演奏しながら歩いた事。夏には八反田川で遊び、田圃のあぜ道を走り回り、冬には積雪・吹雪の中を懸命に歩いた事など数え切れない思い出があります。そして、思い出は全ての卒業生の一人一人の胸の中に、色あせることなく、今もしっかりと生き続けている事でしょう。

昭和三十年代には全校三百人を超す時代もあったと先輩方より聞いておりましたが、少子高齢化の波は確実にこの町にも押し寄せ、近年は児童数減少の一途をたどって来ました。最後となった今年度は、全校児童六名・保護者数四所帯という状況でありました。しかし、児童数は減少しても、地域の方々からの子供達へのご支援は決して減る事はなく、近年では、紙すき体験を通しての卒業証書の作成。そばの種まきから始めたそば打ち体験。大江高山に

生息するギフチョウの成長観測など、この大代町ならではの地域と密着した貴重な学習を経験させて頂きました。

また、婦人会の皆様による本の読み聞かせ活動など、いつも暖かな眼差しで子供達を見守り、育んで下さいました地域の皆様にはただただ感謝の思いで一杯であります。この大代の町から学校が無くなりましても、子供達が居なくなる訳ではありません。この学校での絆を胸に、統合する新高山小学校に通う子供達がいます。どうか、これからもご支援をお願い致します。

最後になりましたが、私のみならず、多くの卒業生が、「恩師」との出逢いを最初に実感したのは、この小学校ではないでしょうか。学び舎であるこの小学校で、一三七年の長き間、数え切れない子供達を、時には厳しく、時には優しく、共に笑い・共に泣き・大切に、大切に教え・導き・育んで下さいました沢山の教職員の皆様方に、心から感謝の意を表し、厚く厚く御礼申し上げます。



旧校門プレート



タイル壁画除幕

大代小学校幕を閉じる

閉校記念事業実行委員長

佐藤 哲朗

大代小学校は三月十八日、百三十七年に亘る歴史を閉じました。

幾多の歴史を経て、昭和二十四年十二月に、八反田に校舎が新築されました。昭和三十年、大代町の人口は千九百十八人、四百六十四世帯、この大代小学校も、昭和三十四年三月末には三

百十八人の児童を数えていました。しかし高度経済成長期に移ると、都市への人口流出が始まり、国道九号線が現在の海岸部に開通したことで、人・車の流れが変わり、過疎化・併せて少子



高齢化が進み、時代の流れには逆らえずついに閉校式を迎えました。

町民の皆さんはもとより、卒業生の皆さんも小学校への思い出は、その時代、時代によって形こそ違っても、懐かしさは皆一様であり、惜別の思いはそれぞれ言葉に尽くしがたいものがある

ったと思われます。先日、卒業を迎えられた小笠原優理さんは、大代小学校として千三百七十五人目の最後の卒業生となりました。この間、過疎地の小規模校としては珍しく一度も卒業式が途絶えることなく続けました。

七月十一日第一回閉校記念事業実行委員会を立上げ、「大代小学校の有終の美」を飾る為、各種検討を行ってまいりました。

十一月にテーマ「小学校のあゆみ」として文化祭を開催し、多くの地域の皆さんに参加して頂きました。

児童の皆さんは、記念行事の発表「ふるさと学習」の総仕上げ、記念のタイル壁画制作など、地域の皆さんと一緒に取り組みました。先生方には通常学校業務の傍ら統合準備、閉校行事の企画等、並々ならぬ負担を、お掛けしました。

また、記念事業の一環として記念碑建立に合わせ「開校百年記念碑」と「旧校門プレート」を県道沿い東側通用門付近に集中設置しました。

この九ヶ月間、ふるさとを離れた卒業生の皆さんからも、幼少期を過ごした小学校への、惜別の思いが数多く寄せ

せられました。



開校百年記念碑(左)・閉校記念碑(右)

大代町にとって、閉校を境にして、寂しさと同時に大きな課題が残りました。

灯り続けた学校の灯りが消えた後の校舎利活用を、地域の活性化に、如何につなげていくか、大田市当局と地域住民が一体となり取組む必要があります。大代町から小学校は無くなりまし

たが、子供達は地域の大切な「宝」として守り育てて行きましよう。

最後に、限られた予算と時間内で実行委員会の運営にご尽力頂きました学校関係者・PTA・まちづくりセンター・卒業生・町民の皆さんに深く感謝します。



在校生からのメッセージ

6年 小笠原優里

今日、三月十四日に私は、卒業しました。私は大代小学校最後の六年として一年大変でした。それでもみんなまで協力してとてもじゆう実した、楽しい年だったと思います。

もう、大代小学校は閉校してしまうけど、学校での楽しい思い出をいつまでも忘れずに、大田第三中学校では勉強に部活にがんばりたいです。

4年 谷口怜里

ついに大代小学校がへいこうしてしまいます。少しさみしいきもちになりました。今まで楽しくくらして、いろいろな思い出を作った学校だからです。

四月から高山小学校にかようけど、そこでも楽しくたくさん思い出を作ろうと思います。



最後のステージ 全員で「ふるさと」合唱！

3年 小笠原利香

3月の18日に大代小学校がへいこうになってとてもさみしいです。まえまでは、夏休みや春休みに学校に出て、一学期にできなかった事をやってた時があっただけけど、高山小学校に行ったら大代から高山まで遠いから、ちゃんと終らせたいです。

大代小学校と高山小学校は人数が大

ちがいだから、もう三、四年生はなれたけど、あと一、二、五、六年生がいるから高山小に行っても、なれるようにがんばりたいです。

3年 井谷雄一郎

今年で、大代小学校がなくなりませう。ぼくは3年間だったけど、とても楽しかったです。みんなといっしょに遊んだりできてよかったです。大代小学校での生活は楽しかったけど高山小学校でも楽しい生活をしたいです。

2年 田邊結奈

今年で大代小学校がなくなつてさみしいけど、この2年間は、とても楽しかったです。高山小学校に行つても、大代小学校のようにたくさんあそんだり、友だちを作りたいと思います。

1年 谷口せな

大しろ小学校にだれもいなくなるからだれもさびしいだろうなとおもいました。でも1年かんだのしかつたです。たか山小学校にいつても、ともだちをつくつてべんきようもがんばります。

卒業おめでとう

つぎいきます



三月は卒業のシーズンです。大田市第三中学校では15日（木）に11名（大代3名）の皆さんが卒業されました。おめでとうございます。皆さんからのメッセージです。

僕の夢

三中3年 泉 幸輔

三月十五日の卒業式は、とてもわくわくしている半面とても不安です。ですが、いい式にしたいと思います。そして僕の夢は、高校に入って野球で甲子園に行けるような選手になることです。そのために高校に入れるようにがんばってそして野球の練習をがんばっていきたいと思います。

それから将来はなるべく、いい仕事につきたいので、しっかり勉強をして、自分に合った仕事をしたいなと思います。これからもっと大変なことがあるかもしれないけど、しっかり前向きにがんばっていききたいです。

卒業するにあたって

三中3年 谷口耕平

三月十五日に卒業を控えて、とても緊張しています。中学三年間は、クラスのみなどと仲良く過ごすことができとても楽しかったです。

卒業した後は、高校に入り、大学へ進学をしたいと思っています。将来の夢はまだ決まっていけないけれど、高校生活で少しずつ考えていきたいです。

今まで、学級の人数が少なかったのですが、高校に入り人数が増えると、最初は戸惑うかもしれないけれど、それはそれで楽しみなもので、高校生活を期待しています。

将来の夢に向かって

三中3年 井谷夏実



四月から高校生になります。合格発表はまだですが、第一希望の学校へ入学できたらいいと思っています。

私は将来、高校を卒業したら大学か専門学校へ進学したいので勉強を頑張

りたいです。部活も一生懸命やりたいです。

にぎやかなひな祭り

大代まちづくりセンター

昨年に引き続き、今年も七日に「ひな祭り」イベントを行いました。

各家庭で、飾られなくなった「ひな人形」を募集したところ、快く預けて下さり、まちづくりセンターへ展示させて頂きました。



顔を合わせて話がはずみます。

年代や所によって、飾り物が違ったりして準備しながら一つ一つ重みを感じ、飾らせて頂きました。段飾りだけ

ではなく、手作りのひな人形もありました。

当日朝早くから、園児をはじめ近所の方々がたくさん足を運んで下さり、にぎやかな「ひな祭り」となりました。



お礼に園児の踊りも特別に披露！

来られた方には、ぜんざいとひなあられを食べていただき、ひな人形を見ながら、昔の事を思い出したりして話さずむ一時を過ごして頂きました。きっと、ひな人形達も喜んでいただこうでしょう。来年も予定しています。皆さんの家庭に、倉庫や押し入れなど

に仕舞われたままの「ひな人形」をぜひ展示して、地域のにぎわいにご協力ください。

俳句

あすなる句会



柿田 横手いちえ

水温む小溝に流る音さえも

落の臺見つけて嬉れし散歩道

八反田 森 信子

生まれるも逝くも一人や冬星座

残雪に赤き紅さす落椿

椿 花田時子

それぞれの希望の一步卒業す

折紙の雛に一枚桃の花

下市 今田文子

患へる夫を眼科に梅ふふむ

力なく消へては落つる春の雪

川上 岩田律枝

立ち話長々続き山笑ふ

うたた寝の心地の良さや春炬燵

本郷 和田喜和子

水仙の折れたるままに花香る

ぼた餅に舌つつみうつ彼岸かな

椿 柿丸寿枝

古き良き世を偲びけり桃の酒

人影も無き街東風の吹き抜ける

4月行事予定

- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- ▼ 1日(日) 婦人会支部長会
- ▼ 6日(金) ～ 15日
- ▼ 春の交通安全運動

合言葉 「みぎ、ひだり、みぎ」

- ▼ 9日(月) 高山小学校開校式
- ▼ 10日(火) 高山小学校入学式
- ▼ 10日(火) 大田第三中学校入学式
- ▼ 15日(日) 大江高山「春の登山」

山田集会所前 午前八時半集合
 ※雨天の場合中止です

- ▼ 15日(日) ふるさと小包発送
- ▼ 17日(火) さくららんぼ教室

お知らせ

◎大代地区社協より

下市 立野 稔 様から
 香典返しにかえ金一封のご厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。

編集後記

閉校式も終わり、もとの静けさの中花芽がふくらんで春を待っています。新年度情報誌「ひろば大代」へのご寄稿・ご支援・ご協力をお願い致します。

